

コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

活動地域・団体名： 熊本県、南阿蘇村

今後地域の将来像を実現するために必要と考えられる事業を3つ書いてください。

1 事業名称：草原再生に向けた草原維持システムの構築		
事業概要	事業の内容	現時点で想定される課題・ボトルネック
<p>社会状況の変化に伴い、草原維持に必要な野焼きの担い手不足が深刻になっているため、草原を資源として活用し、新たな草原維持システムの構築を目指す。具体的には、草原そのものを活用したアクティビティの実施や草原をカヤ材や野草堆肥として販売するなど、新たなビジネスを創出し、この利益を草原維持に向けた取り組みに充当する。これにより、地域内での新たなビジネスの創出及び草原・自然景観の維持による地域振興の達成を目指す。</p>	①なぜこの事業をやるのか (Why)	過疎化・高齢化が進む中、地元住民やボランティアだけで草原を維持していくことは困難であるため、草原維持に向けた新たな「ビジネスモデル」を創りたい。
	②どの地域資源を活用するか	草原
	③商品・サービスの具体的な内容は何か (What)	草原を活用したアクティビティ、草原の資源化（カヤ材、野草堆肥）
	④誰がこの事業の主たる担い手か (Who)	理念に賛同する民間企業、阿蘇グリーンストック、地元農家
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	人（観光客）、資金（サービス代）、草原
		<p>草原を活用したアクティビティや草原の資源化は、阿蘇地域でも一部実践されているが、採算性が不明。また、ビジネスモデルとしていく上で、農家（住民）への周知・啓発が不十分。</p> <p>課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像</p> <p>アウトドア・アクティビティの専門家、マーケティングの専門家、地域資源を活用したビジネスモデルを成功させた事業者等</p>

2 事業名称：湧水を活用した特産品の開発		
事業概要	事業の内容	現時点で想定される課題・ボトルネック
<p>南阿蘇村の豊富な湧水を活用し、村を代表する特産品の開発を行う。現在、東海大学において「水前寺のり」の試験栽培を村内で実施しており、この成果を踏まえ、量産に向けた体制を構築する。水前寺のりからは、化粧品原料となるサクランが抽出され、高値で取引されるため、新たなビジネスとなり得る。また、湧水を活用したやまめの養殖なども行い、南阿蘇ブランドとして売り出す。これにより、新たなビジネスの創出を行うとともに、地下水保全に向けた意識の醸成を目指す。</p>	①なぜこの事業をやるのか (Why)	南阿蘇村において、豊かな湧水があることは当たり前のことのように捉えられているが、これを資源として活用することにより、村民自らが水源涵養・水質保全に向けた意識を持ってもらいたい。
	②どの地域資源を活用するか	湧水（地下水）
	③商品・サービスの具体的な内容は何か (What)	湧水を活用した特産品（水前寺のり、やまめ）
	④誰がこの事業の主たる担い手か (Who)	東海大学、地元住民
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	資金（特産品販売） 地下水保全の取り組み（湧水を活用した特産品販売→資源である湧水を維持しようとする意識→水質保全に向けた取組というプロセス）
		<p>水前寺のりは希少価値が高く、量産できればビジネスとして成り立つが、やまめなど他の地域でも生産されている製品について、どのように付加価値をつけていくか。</p> <p>課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像</p> <p>マーケティングの専門家</p>

3 事業名称：木質バイオマスボイラー導入による脱炭素化事業		
事業概要	事業の内容	現時点で想定される課題・ボトルネック
<p>間伐材や木工所での端材を燃料とした木質バイオマスボイラーを村の温泉施設に導入することにより、温泉の加温を行う。これにより、地域外に流出していたエネルギー代金を地域内で循環させ、エネルギーの地産地消と地域内経済循環の向上、CO2削減を目指す。</p>	①なぜこの事業をやるのか (Why)	温泉の多い南阿蘇村では、加温のため地域外にエネルギー-資金が流出しており、地域内の資源を活用して脱炭素社会の実現と地域経済循環の向上を図りたい。
	②どの地域資源を活用するか	間伐材、端材
	③商品・サービスの具体的な内容は何か (What)	未利用資源を活用したエネルギー（熱）
	④誰がこの事業の主たる担い手か (Who)	南阿蘇村、（株）あて望の郷みなみあて
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	エネルギー（熱）、資金（燃料代）
		<p>事業の担い手や導入先の目的はついてはいるが、採算性が未定。</p> <p>課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像</p> <p>バイオマスボイラーの専門家</p>